

特定非営利活動法
福山市身体障害者団体連合会

第22号

福山市身連通信

2016 (H. 28) 年 4月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目次

大臣賞受賞祝賀会&忘年会	一	1
平成二十七年度忘年会	二	2
理事長 社協理事に 他		
福山市身連サロン会	一	3
福山市身連サロン会	二	4
自動販売機新しく		
障がい者相談員更新		
タブレット体験会		
福山市社協評議員会		5
市身連連絡会議事概要		
広島県障害者スポーツ協会設立		
募金のお祝い		
編集室から		6

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

理事長厚労大臣賞受賞祝賀会 &平成二十七年度 忘年会

平成27年12月18日 労働会館みやび

昨年は突然の総選挙のため日程の変更を余儀なくされた福山市身連の忘年会は、今年は計画通り当初予定された日程で開催となりましたが、忘年会の募集を始めてから後に、理事長が今年の厚生労働大臣賞に選ばれていることが分かり、受賞の祝賀会も同時開催することにして、改めて募集し直して開催する事となりました。

初めに担当協会が予定していた時間を都合して、その前に事務局が主導して、先ず十二月の連絡会を本場に連絡の伝達のみにして済ませて役員の十二月再度の集合をしないことにして、それから三島理事長の厚労大臣賞の受賞祝賀会に移り、行政や関係機関もご出席いただき、急な企画行事でしたが、本場にそれらしき式典となりました。

祝賀会

今年の忘年会は新市協会と神田協会が幹事として担当して、企画や準備を全面的に引き受けて計画

されており、すでに各協会に案内してありましたが、せっかくの会員さんの集まる機会に祝賀会も合わせて行いたいと急遽こちら事務局担当で同時開催とし、改めて行政や連合会顧問の方にも案内をさせてもらい、昨年の忘年会は急な日程の変更でほとんどなかった来賓のご参加も得て開催できました。

今年、広島県としても珍しく何名もの受賞者が選ばれ、三島理事長は府中市の広畑さんや、熊野町の福社功労者として選ばれ、十二月四日東京に行き、皇居において天皇陛下の前で賞状を授与されたそうです。このことは大変感激であつたようで、謝辞で長々と説明されておりました。

市身連理事長の受賞ということで福山市として福祉部長が祝賀会のみ出席され、社会福祉協議会からも忘年会とも出席いただき、また顧問の的場県議と、開催中の福山市議会の時間をぬって法木市議にも祝賀会に間に合ってもらえ、それぞれにご祝詞を戴きました。

三島理事長は合併以前の新市協会から団体役員を長年してきたこともあり、それぞれの来賓からその業績を讃える祝辞をいただき、また今日の出席が難しいと欠席の予定であった鎌刈県身連会長も当日都合がついたと出席され、今年の特に多かった県内の受賞者の顔ぶれに触れながら祝辞を述べられ、盛大な祝賀会となりました。

(次ページに忘年会)



忘年会

福山市身障連合会は昨年だけでも、松永、駅家と二つの協会が解散してなくなり、連合会としては大きな虫食い状態でそれに各協会とも高齢化で、このようなイベントへの参加者の出足があまりかん

忘年会出席のみなさん



ばしくなく、担当となった協会としては参加者数の心配をしながら、計画・準備でしたが、勧誘もしっかりされてどうか忘年会として賑やかに楽しめるほどの参加者がありました。

ここからは担当した神辺協会の田上会長の司会進行で、先ず、前川相談役の乾杯の音頭でそれぞれ好みの飲み物で乾杯して、祝賀会のと小休憩の間に配膳してもらったご馳走をいただくことになりました。

しばらく料理に舌鼓を打ってから恒例のカラオケタイムになり、三島理事長を皮切りに次々と自慢の喉を披露していつもの忘年会の雰囲気となり、参加者たちは今年一年の事を思い出しながらの食事やカラオケを楽しむ時間を過ごしました。

今回の忘年会へは三〇名ほどの参加者があり、みやびから北部や駅裏に送迎バスを用意して貰えましたが、市身連が法人になった事でこのような行事に、参加費を補助してはいけないと言われ、参加者に負担が大きかったり、高齢で



行事に参加するのが厳しくなっており、今後このような行事に参加者が減っていくことが予想されますので、行事の開催については会費を極端に抑えて計画するなどしないと参加者が増えず、そうすると行事に魅力を持たせるのが大変難しくなると思われます。

今後の連合会の活動や体制自体について改めて考える行事となりました。

福山市社協 理事 県身連 会員代表へ 三島理事長就任

平成二十七年十二月二日、福山市社会福祉協議会の評議員会が開催され、二十七年度の中間決算と事業の進捗状況の中間報告を受けましたが、それらの議事とともに前川前理事の辞任で空席となっている市身連からの理事の選任について三島新理事の承認案が提出され、異議なしとして可決されました。この日から、今年七月まで前理事の残りの期間が任期で、その後再任となると思われます。

また、広島県身連の東部地区理事三名の中の一名として、藤井貞副理事長が就任していますが、それとは別に、昨年まで福山市身連の会員代表として村上副理事長が県身連へ出ていましたが、今年から三島茂氏が理事長になりましたので会員代表として交代する事となりました。今後県身連の総会等に出席することとなります。

平成二十七年年度

市身連サロン開催

時 平成二十八年一月二十四日
所 福山市人権交流センターホール

年末の忘年会を新市協会、神辺協会が主管として担当して開催されましたので、サロン

福山市身連の役員体制が変わり今年度からの活動方針として年間幾度かのサロンを市内北部、南部等で開催し、またそれらの担当をいくつかの協会を受けて実施し、そのことで各協会活動の活性化を図ろうと企画されていましたが、今年度は県身連が各大会関係以外にも県内各地で行事を計画され、参加要望が多かったことや、福山

としても相談員協議会が話だけでなく本場に独自の研修会を開催して相談員の資質アップに努めたことなどで、毎月何らかの行事があり、年度当初の年何回かということとはとても日程が取れず、一回のサロン会も夏頃、いや秋になって年が変わってからと計画はずれていき新年一月に開催ということになりました。

会は、福山協会、難聴者・中失協会、車イス協会を担当してくれないかとの意向や、サロン会は連合会事業を出来るだけ遂行できる形でやってほしいとの意向を受けて、連合会は事業として、相談、文化、福祉交流等の項目を上げてありますので、三協会・連合会で話し合っ

て準備する事としました。一昨年サロン会とは言いませんでしたが、臨時総会の同日開催でカラオケ大会・文化作品展示会を開催していますのでそれを参考に計画を始めましたが、開催内容にいろいろ賛否両論があつて、あれはいろいろな、これもどうかという意見がありました。それでは連合会事業の遂行にならないので出来るだけの行事を組んでやることとしました。

市身連としては会員さん（正会員・各協会会員共）がNPO法人となつてのメリットを受ける状態でないことを考慮して、出来るだけ負担なく、参加して楽しい行事を企画してほしいとの意見を聞いて会費は最小限として、会員に高齢者も多く、難しい話なしの趣味などを前面に出して、カラオケ、ビンゴゲーム、趣味の作品展示、障害者相談のコーナーを設けての開催としました。



行事募集の当初、参加の手応えがなく、担当としては少々心配しましたが結局ボランティアさんの協力を含め五〇名程の参加応募があつてこれで一安心と景品等の準備にかかりましたが、開催日五日ほど前から今度は天気予報に大変なプレッシャーを掛けられることになりました。

何年ぶりの寒波で日本全土で大変な大雪となりそうとか、今年一番の寒波で西日本は沖縄まで雪ではないかと予報が出て、顔を合わせ人ごとに本場にやるの？とか言われましたが、前日午後の会場設定の時間になつても雪は降つておらず、弁当やカラオケの予約もしており、とにかく準備は万端やつておいて当日積雪があつた場合は、無理な参加で危険なことのないよう連絡をとるつもりで当日を迎えました。

そして当日幸いな事に低温ではあつても市内は雪が降つておらず北部では朝方少し雪化粧になつたそうですがそれ以上には至らず、結果欠席者一名以外皆様の出席で開催できました。（次頁へ）

(サロン会 ついき)

担当の協会やボランティアの人たちも早めにセンターへ行って会場の暖房をいれてもらい準備を始めましたが、定刻になり参加者が揃う頃になっても流石に最低気温の日なので、暖かいまでにはなりませんでしたが、朝の天気予報でも何時雪が降るかもしれないと言うことなので、予定の行事を出来るだけ早めに進行して昼休憩も短縮させてもらい、もし雪が降り始めても安心して帰宅してもらえるように早めの進行優先とさせてもらいました。

午前中は会場の後部に絵画などの文化作品を展示しておいてカラオケで楽しんでもらうと共に、開会挨拶後から午前中は市身連事務所に障がい者相談員が待機して相談コーナーも設けました。

午前中でカラオケが終わりすぐ用意の弁当で昼食休憩となりましたが、この気候でご飯は冷蔵庫から出したばかりかと思うほど冷たいものでした。この頃雪は少し吹雪いていましたが、積もりそうにはなく、早めに午後の行事をと休憩を縮めて、テレビで駅伝が気に

なっていた人たちも席についてもらいビンゴゲームに移りました。



今回のゲームでは、ビンゴになった人からそのカードを本部席へ持ってきて、用意してある記念品と交換し、尚且つこのために用意された中身の丸見えでないよう包装された景品を一点自分で選んで受け取る事にしました。本部席の経験では結構時間が掛かっていましたので二時間ほどかかるかと思っておりましたが、以外に早く全員がビ

ンゴになりました。連合会ではこのあと会員交流にゆっくり話し合ってもらった予定でしたが、担当協会としては、皆さんに安全に帰宅してもらおうことをと、少しだけ会員の体験談を話してもらおうことに留めサロン会を終了することにしました。

この冬は暖冬と言われ、正月も暖かかったので、サロン会当日が

市身連自動販売機更新 すこやかセンター

我々市身連がすこやかセンター



このようにこの冬最大の寒い日になるとは思ってもいませんでしたが参加いただいた皆様寒い中本当にありがとうございました。二十五日朝起きてみると、あたり一面真っ白でこれが昨日でなくて良かったと胸をなでおろしました。

来年から一月に行事案が出て絶対賛成しません。

内に設置権利を得ている自動販売機の中身が今時珍しい紙パックにストロー付きのものでしたが、販売機管理の「コカ・コーラ」と話合っていて、利用しやすいフタ付きのペットボトルや缶入のものにして、隣の販売機の飲み物と競合しないような中身の新しい販売機となりました。

センターの入口を入り、右に突き当たりである写真手前のハートマークのようなものがついている販売機です。業者もこれで売上が上がると言っていますが、皆様ご利用よろしく願います。

平成二十八年年度からの

障がい者相談員更新

二十七年で任期終了になる障がい者相談員の来年度からの候補者推薦を連合会から出してもらいたいと、一月半ば福山市から連絡がありました。

相談員の任期は二年間なので今後二十八、二十九年度の二年間で、今年の市からの書類を見ると、本来相談員に関する規則では六十五歳までが基本となつていますが、ここ何年かはその役目をこなせる人ならば七十五歳までとし、それを越えても活動が出来ていればよしとしていました。今年からは七十五歳までであることを配慮したいとなっており、そのため人数が揃わなくても構わないと書かれてありました。

現状では、これにそうと相談員不在の町や、人数も半数近くになりそう。福山市で相談員協議会を組織していますが、その役員をしている人はほぼ全員相談員を降

りることに
なり、この
協議会は今
後存続はで
きるかどうか

か検討しなくてはならなくなると
思われます。

現会長が相談員ゼロの町について役所に話したところでは、とりあえず、年齢超過者でも一人推薦してみてくださいとのことでした。市は連絡を出すと即返事をというのが通例ですが、こちらは市内全域と連絡を取り本人の承諾の捺印もいることなので、二月にならぬと推薦は揃わないと連絡しているそうですが、提出後どんな陣容になるか今のところわかりません。

タブレット体験会

県身連が企画され県内各地で開催されて来たタブレット体験会の身障の部の福山会場は我が市身連事務所で行われました。

福山からは申し込みが遅れず

に締切と言われ参加者は少しでしたが、十二月十五日取材に行った記者は当日欠席があるので代わりにどうぞと言われ受講してきました。

基本的な操作や機能の説明を受けながら、用意してもらったタブレットを扱う事から始め、文章のインプットやインターネットとの接続等の研修を受けました。受講生の何名かはすでにタブレットを持っていますが、操作について改めて勉強ししっかり利用できるようにという人達でした。今回は森下会長はじめ尾道市からは団体で参加されておりました。

タブレット自体スマートフォンとパソコンの中間に位置するよう存在で、情報を取るにはパソコンのようにネットを契約する必要があり、パソコンより手軽で便利ではあります。自分は持ち歩くには少々お荷物かなと思いましたが、なお、年が変わり二月にはロードコムで視覚障害向けの体験会が予定されていますが、福山の視覚協会はすでに研修して福山以外の人が対象になるようです。

福山社協評議員会

平成二十七年二月二日
福山すこやかセンター

二七年第三回の評議員会が例年通り年末に開催、評議員三三名中二六名出席で成立し、報告では前半の事業の進捗状況と会計も同じく前半の中間報告がそれぞれ担当の事業毎に報告されました。総じて事業も会計の内容も半年分の進み具合で問題なく進捗していると思われませんが、何か質問、意見がありますかとの議長の問いかけに自分たちの地域は過疎で一人住まいの人に声かけ運動をしているが全市的にどうでしょうかなどの発言がありました。

議事としては、四点程提案されましたが、マイナンバーが始まったことにより、事務全般に関係するので、その処理で規約全般を改正するといふもので、内容の仔細についてはあとでゆっくりお読みくださいと可決されました。その他の議案で、他で記したように三島理事長が、理事として新しく加わる事になりました。

連絡会 議事概要 (H27. 12~28. 2)

12月連絡会 (12月18日 忘年会後)

- 1、サロン会開催内容説明・案内等
- 2、相談協・連合会でのマイナンバー研修会企画の件
- 3、市福祉総合計画(案)の意見募集について
- 4、福祉大会等のボランティア謝礼等の対応の件

H28年1月連絡会 (1月15日事務所)

- 1、サロン会 参加状況、準備状態の説明
- 2、相談員研修 会場、案内状況説明
- 3、市住生活懇話会委員選出の件
- 4、障がい者相談員推薦依頼について
- 5、移動支援ボランティア当面日帰り日程に対応とする
- 6、自動販売機を新しいものに変更の報告

2月連絡会 (2月6日 事務所)

- 1、相談員研修会要項 2月19日、すこやかで
- 2、障がい者相談員の推薦 75歳以下では地域や役員が揃わない件で市と話し合ってみる予定
- 3、全国大会(5月京都)案内募集 福山1泊仕立て
- 4、NPO事業の藤井副理事長案を聞いて検討 12日
- 5、今後の連合会体制のあり方について
- 6、サロン会報告

連合会活動にご協力ください

私達 福山市身体障害者団体連合会 は厳しい財政の中障害者福祉活動をしています。賛助会員制度を設け広く皆様の「ご協力」をいただけるようお願いしております。(団体は何口として)

年会費 個人 500円 団体(1口) 1000円

連合会加盟の各協会か、連合会事務局へご連絡ください。

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

事務所 福山市佐波町二六一一三 福山市人権交流センター内

電話 F 084・961・4733

広島県障害者スポーツ協会設立

平成二十八年一月十四日
広島県庁 北館にて

と実現されることになるようです。障害者といえど

県身連の身障通信を購読されている方はそれでご存知でしょうが、昨年の年度初めに、今年から障害者のスポーツ協会を立ち上げる事に取り組み予定と言われていました。が、いよいよ発足したようです。二〇二〇年には日本でオリンピック・パラリンピックが開催される事が決まり、その準備に関する話題が世間を騒がせていますが、障害者のスポーツに関する広島県の取り組みについては、日本でブリーが最下位の遅さだそうでは

もスポーツ大好き人口はしっかりといて、色々な競技に挑戦し楽しんでいて、一般の人の競技とハンデがあったりしますが、対等である競技もあり、そのような競技では体協に加盟し、国体予選にも参加して来ているものもあるのですが、今回の県としての取り組みはそのような認識はなさそう、障害当事者の意見や現状を踏まえての結成とは思えない面があり、作って置いたからいれてやるぞと言われそうなのが気になります。

編集委員会より

会報の発行を年四回としましたので二二号は新年度になっての発行となりますが、載せる情報が間延びしたものなることに発行側も戸惑っています。

前年度の報告事項や新年度の計画等についてお知らせしたい時期ですが、それは次号での報告にな

りそうです。このテンポに早く馴染んで編集しなげねばと思っておりますが、年度替わりを迎えると総会資料を揃えたり、総会を終えると今度は法務局や県庁届出書類の作成のお手伝いが待っていますので、この頃は編集そっこのけで事務処理をやることになりそうです。

(M)